



宇土市松山町の県道沿い(ヒライの弁当隣)にできた「むすび・宇土」



24時間常駐のヘルパーセンター

介護保険を受けている... 宇土市が4月1日、宇土市要支援者から要介護者までを対象とした介護付有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)「むすび・宇土」がオープンした。

Table with 3 columns: Fee Category, Amount, Total Monthly Fee. Includes items like housing, food, management, electricity, and cleaning.

※敷金は、分割払いも可能
※管理費は、事務経費、衛生管理費、保守管理費。
※電気水道は使用分のみ。月3,000~4,000円
※洗濯料金は、依頼されたとき週1,000円程度。
※紙おむつ代は実費。
※要支援1~2は月6,420~14,820円。
※要介護1~5は月16,470~24,540円。



個室は全26室。それぞれ20㎡とゆつたりとしている。



食堂は1階、2階に。メニューは専門のシェフが指導。

介護付有料老人ホーム「むすび・宇土」がオープン
24時間、看護師とヘルパーが常駐する万全の態勢

眼科学会や眼科手術学会などで多くの学術講演や論文を発表する一方で、眼科医として全国初の「専門医認定3冠」(日本眼科医学会、日本東洋医学会、日本抗加齢医学会の各認定専門医)を取得、さらには日本眼科医学会前副会長の井上治郎博士と共著で『眼の成人病』を出版するなど、常に眼科学会から注目を浴びている宇土市南段原町の「むらかみ眼科クリニック」の村上茂樹院長が、またまた快挙。4月1日から順天堂大学スポーツ健康科学部の客員助教授(ことしより准教授に名称変更)に就任した。開業医でいきなり助教授になったのは極めて珍しいケースという。



講演する村上茂樹院長

「むらかみ眼科クリニック」の村上茂樹院長がまたまた快挙!

名門・順天堂大学の客員助教授に就任

開業医としては極めて珍しいケース

沢木学部長(日本陸連専務理事)の推挙
順天堂大学の医学部は名門として有名だが、スポーツ健康科学部もスポーツ界では名門中の名門だ。過去のオリンピックで、体操の富田、水泳の鈴木大地といった2人の金メダリストを輩出しているのははじめ、今年の箱根駅伝では史上劇的な逆転優勝を遂げるなど、これまで計11回の総合優勝を数えている。



は眼と視機能をよくするための栄養療法や理学療法とアイテム課題を研究していく予定だ。動体視力の視機能については現在、大リーグの打者や松坂投手が使用してすでに話題になっているオレンジイエローのカラーコンタクトレンズや機能カラーメガネを約1年以上前から治療研究で開始。ボールをよりはつきり見て、とらえることができ、選手の高度のプレーに役立っている。

眼の健康

また、眼の健康については、村上院長はカシスに含まれる眼によい抗酸化色素の「アントシアニン」について、明治製菓と協力して研究を開始している。カシスは、ブルーベリーの3倍以上のアントシアニンを含むため、眼の疲労や血流をより著明に改善したり、老化を防止する活性度の高いアントシアニンである「シアニン」をめぐりたいとしている。昭和61年、順天堂大学医学部を卒業。日本で最も権威ある東京・井上眼科病院の医局長を経て、熊本市の西日本病院眼科部長に迎えられ、平成8年、宇土市に現在のクリニックを開業した。医学博士。

Advertisement for 'Koga Sake' (酒販) featuring a grid of gift certificates (商品券, ビール券, 旅行券, etc.) and contact information for the shop.

Advertisement for 'Kurofune' (黒風者) beer, featuring a bottle and glass, with text describing its taste and health benefits.